

広島大学病院精神神経医科学教室後期研修医3年目の谷千尋と申します。修道高校を経て東京医科大学に進学、卒業しました。帰広後JA尾道総合病院で初期研修を行い、現在の医局に入局しました。本年度は専攻医プログラムの一環として、三原病院にて研修しています。

三原病院に勤務するにあたり三原に転居しましたので、その魅力をお伝えできればと思います。三原市は人口約8万5千人の瀬戸内海に面した地方都市です。デパートや大きな商業施設がない分、空の青さをダイレクトに感じられる、のどかな景観が広がっています。特に尾道～三原方面の2号線のトンネルを抜けた時に一望できる瀬戸内海は絶景です。まさに「みはらし」が良いといったところでしょうか。本稿をお読みいただいている皆さまもお立ち寄りの際、その景色に目を向けていただけたら幸いです。また、ぜひ訪れていただきたいお店の一つに「城町 藤もと」という日本料理店があります。広島の名店「壮士」で修行された店主が地元で開かれた、「寿司WEST百名店」や「THE TABELOG AWARD Bronze」などの選出・受賞歴のある割烹料理店です。料理は地物を中心としたおまかせコースで、店主自ら仕入れた魚の状態を見ながら、その日に提供する料理を決められています。店内に入ると喧騒を忘れて料理と向き合える、隠れ家的な一軒です。三原を訪れる機会があれば、ぜひ一度足を運んでみてはいかがでしょうか。

広島県では県内を東部と西部の2圏域に分け、複数の精神科病院が輪番で救急患者を受け入れる体制が構築されています。東部圏域では小泉病院、福山友愛病院、三原病院が輪番施設となり、竹原市、三原市、尾道市、福山市、府中市、三次市、庄原市など広範な地域を対象としています。現在赴任して数ヶ月が経過した中で、町野院長が大切にされている「断らない精神医療」というモットーを学ばせていただきました(過量服薬後の意識障害、アルコールや薬物による中毒など、まず身体的な評価・治療が優先される場合を除きます)。精神科医療は、他科に比べると一生付き合っていく疾患が多く、一筋縄ではいかないことも多いです。精神科の中でも、病院を転々としたり、受診を断られてしまったりするケースは少なくありません。他院で対応が困難であった方や治療につながらなかった方についても、最後のとりでとして患者さまに寄り添っていくことを目指しています。引き続き、貴重な経験を重ねながら、尾三地区の精神医療に貢献していければ幸いです。

最後までお読みいただき、ありがとうございました。三原病院での研修を通じて得た経験や、三原という地域の魅力を少しでもお伝えできていれば幸いです。今後とも尾三地区の精神医療に携わる一員として、研さんを重ねてまいりたいと思います。